



ARCHITREND 省エネナビ

ARCHITREND 省エネナビでは、一次エネルギー消費量の計算や、複数のプランの性能やコストを比較できます。また、施主への提案書を作成することもできます。

1. ARCHITREND 省エネナビの概要	1
1-1 省エネナビの基本的な流れ	1
【外皮性能計算から省エネナビ起動】	
2. 省エネナビ起動・一次エネルギー消費量計算	2
2-1 省エネナビの起動と外皮性能計算の連携	2
2-2 一次エネルギー消費量計算	7
3. BELSなどの申請を行う場合	15
3-1 計算結果PDFをダウンロード	15
3-2 BELSの申請書の作成	16
【平面図から省エネナビ起動】	
4. 平面図で外皮性能チェック・省エネナビ起動	18
5. 提案書作成（かんたん設定）	22
5-1 提案書の作成	22
6. 省エネ性能ラベルの作成	24
6-1 ラベルの作成	24

1

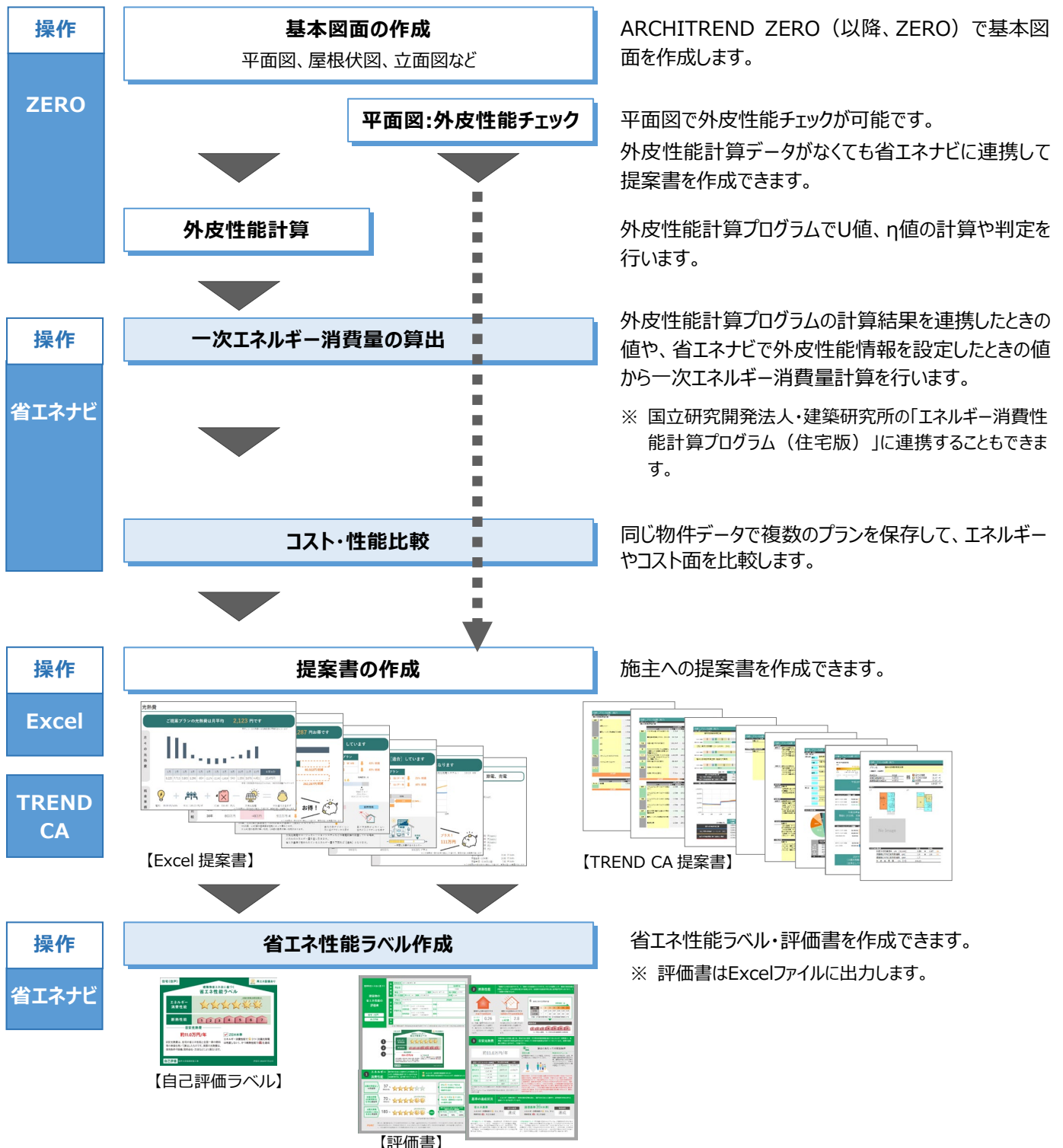
ARCHITREND 省エネナビの概要

ARCHITREND 省エネナビ（以降、省エネナビ）へ外皮性能計算で計算した結果を連携して、一次エネルギー消費量の計算を行うことができます。また、省エネ住宅の「性能」「コスト」の見える化を可能にし、施主への省エネ住宅の提案をより具体的に、スピーディーに行うことができます。

省エネナビVer.6からは、平面図の「外皮性能チェック」から連動して、一次エネルギー消費量の計算やコスト比較、提案書の作成までおこなうことができます。

さらに、省エネナビVer7では、省エネ性能表示制度ガイドラインに従った省エネ性能ラベル・評価書を作成できます。

1-1 省エネナビの基本的な流れ



2

【外皮性能計算から省エネナビ起動】

省エネナビ起動・一次エネルギー消費量計算

ここでは、「2-1」で外皮性能計算の計算結果を連携して省エネナビを起動する方法と、「2-2」で「暖房」から「コージェネレーション」までの設備機器を選択して一次エネルギー消費量計算する方法について解説します。

2-1 省エネナビの起動と外皮性能計算の連携

省エネナビを起動する前に、U値や η 値の判定結果を確認します。ここでは、外皮性能計算は終わっています。

※ サンプルデータ「01_省エネナビ（開始）.fcbz」を使用します。

※ 初期設定や単価マスタの設定、プログラムのバージョン等の違いにより数値や単価が教材と異なる場合があります。

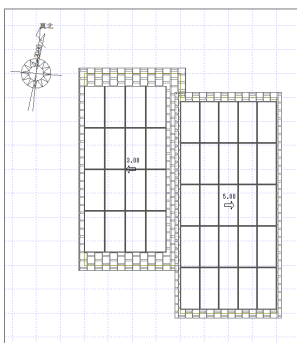
外皮性能計算を開く

外皮性能計算を開いて熱的境界の仕様などを確認しましょう。

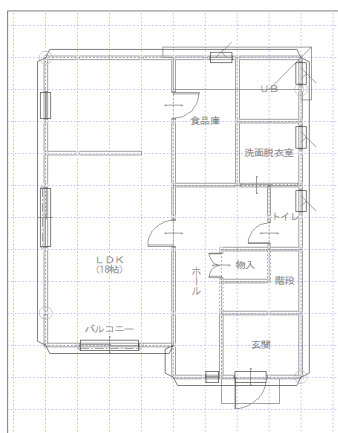
※ ここで使用するデータは、屋根伏図で太陽光パネルも入力しています。



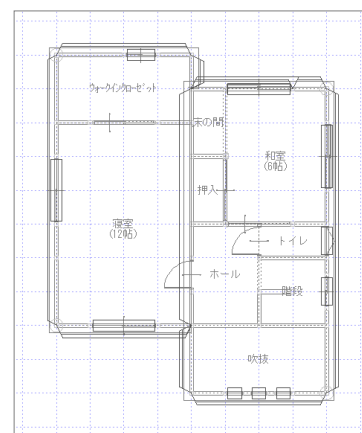
【パースモニタ】



【屋根伏図 2階】



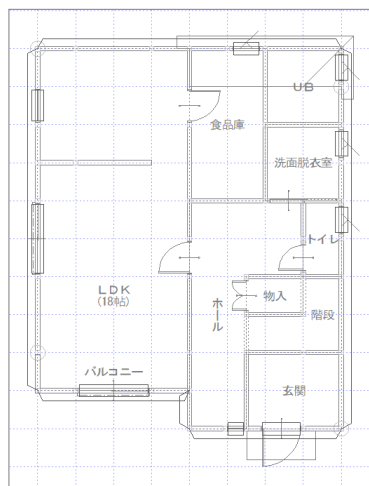
【外皮性能計算 1階】



【外皮性能計算 2階】

外皮性能計算の計算結果を確認する

- 1 「リアルタイムチェック」をクリックします。「リアルタイムチェック」ダイアログで U 値や、 η 値などの判定結果を確認します。



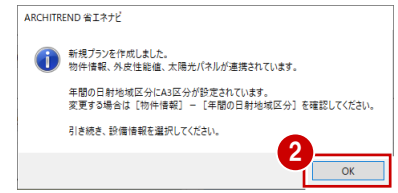
【1階】

リアルタイムチェック					
一戸建ての住宅					
地域	6	基準値	設計値	等級5	ZEH ZEH+
UA	0.60	≧	0.53	OK	OK NG
η AC	2.8	≧	1.6	OK	
η AH			1.5		
外皮面積	349.64	m ²			
外皮熱損失量(q)	182.3	W/K			
冷房期日射熱取得量(mC)	5.54	W/(W/m ²)			
暖房期日射熱取得量(mH)	5.40	W/(W/m ²)			

※ 再度、「チェック」メニューの「リアルタイムチェック」をクリックすると、「リアルタイムチェック」ダイアログが閉じます。

省エネナビに連携する

- 1 「省エネナビ」メニューから「省エネナビ連携」を選びます。
- 2 確認画面の「OK」をクリックします。
- 3 「ZEH 基準適合仕様例（建産協）」をクリックして確認します。
- 4 「設備情報の選択」が表示されます。ここでは「キャンセル」をクリックします。



設備情報の選択

設備情報を選択してください。

ZEH基準適合仕様例（建産協）

名称	暖房	冷房	換気	給湯	照明	太陽光発電
	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	ダクト式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	ガス従来型給湯機 (モト熱効率70.4%)	全てLED	設置しない

比較プラン用の各断熱性能等級相当の設備仕様です。

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会（略称 建産協）が提供している、「ZEHのつくり方」のZEH基準適合仕様例から設備を選択できます。

設備情報の選択

設備情報を選択してください。（地域区分：6）

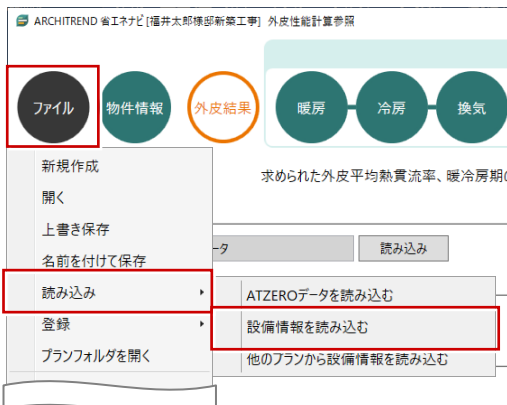
ZEH基準適合仕様例（建産協）

名称	暖房	冷房	換気	給湯	照明	太陽光発電
1 一般設備	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	電気ヒートポンプ給湯機 (JIS効率3.4)	全てLED	3.96kW パワコンなし
2 一般設備	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	ガス層熱回収型給湯機 (モト熱効率92.5%)	全てLED	4.40kW パワコンなし
3 一般設備	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	コージネーション (PEFC6)	全てLED	3.52kW パワコンなし
4 一般設備	主たる居室 温水床暖房 (電気ヒートポンプ) その他居室 設置しない	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	電気ヒートポンプ給湯機 (JIS効率3.4)	全てLED	3.96kW パワコンなし
5 高効率設備	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.05)	電気ヒートポンプ給湯機 (JIS効率3.6)	全てLED	3.53kW パワコン96%
6 高効率設備	主たる居室	全居室	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.05)	コージネーション	全てLED	3.92kW

※ 一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会（略称 建産協）が発行する「ZEHのつくり方」（2023年度版）に掲載する地域別ZEH基準適合仕様例を参考にしています。
※ 外皮性能値等によりZEHを満たさない場合があります。

「設備情報の選択」画面を表示するには

「ファイル」メニューから「読み込み」の「設備情報を読み込む」を選ぶと、再度、「設備情報の選択」を開くことができます。



設備情報の選択

設備情報を選択してください。（地域区分：6）

ZEH基準適合仕様例（建産協）

比較プラン用

名称	暖房	冷房	換気	給湯	照明
等級7相当	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.05)	電気ヒートポンプ給湯機 (JIS効率3.6)	全てLED
等級6相当	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	全居室 ルームエアコンディショナー(L)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.05)	電気ヒートポンプ給湯機 (JIS効率3.6)	全てLED
等級5相当-ZEH相当	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	主たる居室 ルームエアコンディショナー(L) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	電気ヒートポンプ給湯機 (JIS効率3.4)	全てLED
平成28年省エネ基準（等級4）	主たる居室 ルームエアコンディショナー(S) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	主たる居室 ルームエアコンディショナー(S) その他居室 ルームエアコンディショナー(S)	壁付け式第二種/第三種(0.5回) 比消費電力(0.30)	ガス従来型給湯機 (モト熱効率78.2%)	主たる居室 いづれか白熱 その他居室 全て白熱灯 非居室 いづれか白熱

「初期値」は表示されません。

省エネナビを起動するときの確認画面について

省エネナビを起動するとき以下の確認画面が表示された場合は、FCアカウントからご利用のバージョンのプログラムをダウンロードしてインストールをし、再度省エネナビを起動してください。

FCアカウントを起動 ⇒ 「プログラムの更新」⇒「ARCHITREND ZERO シリーズ」⇒「ARCHITREND Ver〇.x」⇒「ARCHITREND 省エネナビVer〇.x修正プログラム atsho-〇〇〇〇.exe」をダウンロードして実行します。

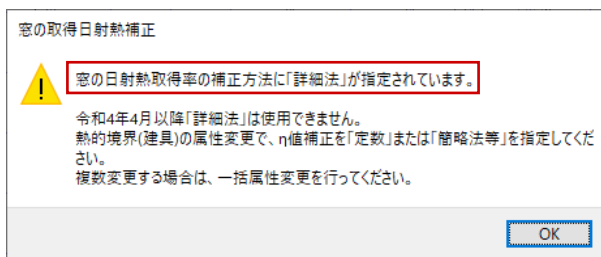


※ FCアカウントからダウンロードする方法については、P17を参考にしてください。

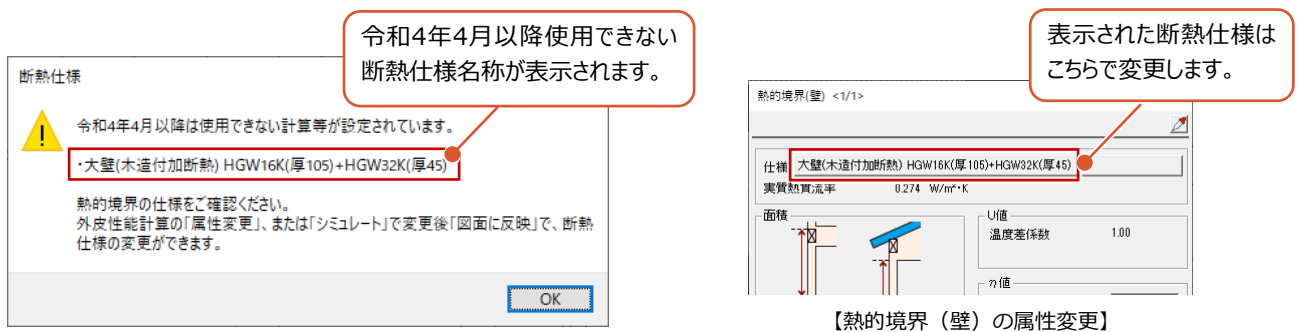
次のような確認画面が表示された場合は、計算方法や仕様をご確認ください。

- 「詳細法」を使用して建具が入力されている場合、以下の確認画面が表示されます。

「詳細法」は令和4年4月以降使用できないため、熱的境界（建具）の η 値補正を「定数」または「簡略法等」を指定してください。



- 外壁と屋根の熱的境界で、（旧）付加断熱の施工法の仕様が設定されている場合、確認メッセージ画面が表示されます。このような場合は熱的境界の仕様を確認してください。



【熱的境界（壁）の属性変更】

「外皮結果」を確認する

- 1 「外皮面積の合計」「外皮平均熱貫流率 (UA)」「平均日射熱取得率」は外皮性能計算から連動した値が表示されます。
- 2 判定結果を確認します。
ここでは、等級5 (ZEH 水準)、ZEH 基準をクリアしているためこれらの判定結果を表示しています。

エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版）のバージョンが表示されます。

ZEH+の4地域のUA値

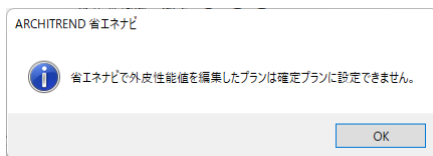
2022年度（～2023年3月）までは暫定措置の基準値0.50を使用していましたが、2023年度（2023年4月～）からは0.40以下になります。
2023年4月版以降のプログラムでは基準値0.40で判定します。

外皮平均熱貫流率、冷房期日射熱取得率のいずれかが等級4をクリアしていない場合は、背景色が薄くなり不適合と表示されます。

平成28年省エネ基準(外皮性能) : 不適合×
断熱等性能等級4 : 不適合×
ZEH基準(外皮性能) : 不適合×

ZEROの外皮性能計算から連携した後に、各等級相当のテンプレートを選んで外皮情報を変更したり、UA値やηAC・ηAH値を入力して変更したりすることもできます。

※省エネナビで、**編集** から外皮性能情報を変更した場合には、「確定」プランにできません。（外皮性能の数値根拠の整合性を保つため）



※「確定」プランはZEROの「確定プラン取り込み」で使用します。

「物件情報」を確認する

住宅の基本情報について確認します。

- 1 「物件情報」をクリックします。
- 2 ここでは、ZERO から連動しているため「プラン・工事場所」は ZERO の物件情報、「地域」は物件初期設定、「面積」は外皮性能計算でセットした内容が連動します。

※ 連動内容についてはヘルプを参照してください。



補足

インフォメーションマークが表示された場合には

以下のような場合に、「物件情報」にマークがつくことがあります。

- ・外皮性能計算から省エネナビに連携した場合
- ・省エネナビのプランデータを「新規作成」で作成した場合
- ・「ファイル」メニューの「読み込み」の「ZEROデータを読み込む」から読み込んだ場合

※エラーがある場合は、警告マークを優先表示します。⇒P7.「補足」参照

このようなときは、マーク上にマウスを移動すると対処方法が表示されるので内容を確認して変更してください。



2-2 一次エネルギー消費量計算

「暖房」から「コージェネレーション」までの設備機器を選択して、一次エネルギー消費量計算をします。

暖房設備について設定する

暖房方式を選択して、それに応じた暖房設備機器について設定します。

- 1 「暖房」をクリックします。
ここでは、変更せずに確認のみとします。

項目の横に表示されている「？」をクリックすると、ヘルプが開きます。



「計算」をクリックすると一次エネルギー消費量を計算します。計算後、内容を変更すると「計算」ボタンの表示が変わります。

暖房	一次エネルギー消費量	光熱費
基準プラン	14.1 GJ	30,771 円
設計プラン	12.7 GJ	27,764 円

※「主たる居室」で「温水床暖房(併用運転に対応)」を選択した場合の光熱費計算は、「エアコン＝電気、温水床暖房＝ガス」とし、エネルギー割合は「電気：ガス＝0.5：0.5」としています。

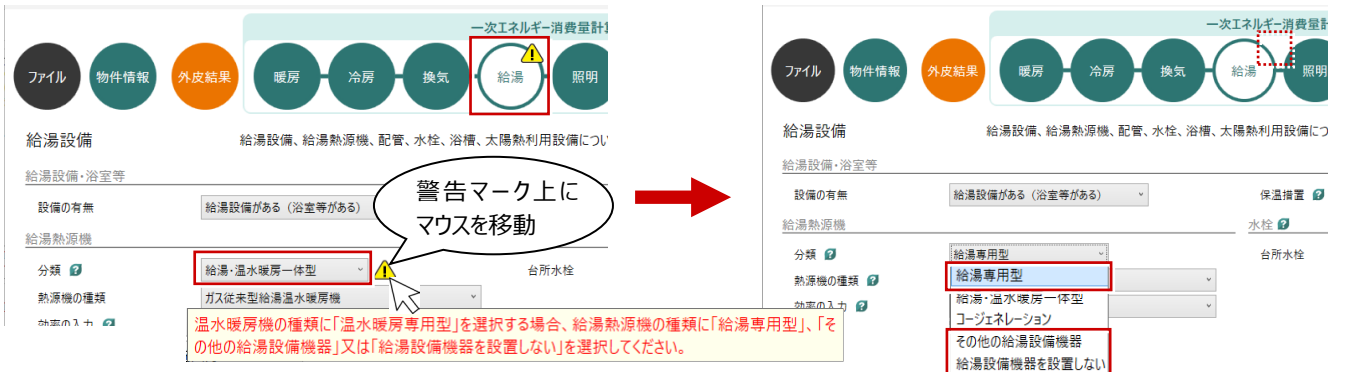
ルームエアコンディショナーの「エネルギー消費効率の区分」で、「区分（い）」を選択する場合は、建築研究所HP (<https://www.kenken.go.jp/>) で提供している区分表の定格暖房エネルギー消費効率が区分（い）の基準を満たしていることを確認した上で選択してください。

暖房設備：「主たる居室」で「温水床暖房」を選択した場合

「温水床暖房」を選択した場合に、給湯設備の給湯熱源機の種類で警告マークが表示される場合があります。



このような場合は「給湯」をクリックして、給湯熱源機の種類を「給湯専用型」、「その他の給湯設備機器」または、「給湯設備機器を設置しない」を選択してください。



暖房設備：「主たる居室」で「温水床暖房(併用運転に対応)」を選択した場合

「温水床暖房（併用運転に対応）」を選択した場合、その後選択する項目によって警告マークが表示されます。

画面下部へスクロールし、「温水暖房機の種類」を確認します。

「給湯・温水暖房一体型」「コージェネレーション」を選択してください。

または、「温水暖房専用型」の場合は、「ガス潜熱回収型温水暖房機」を選択してください。

【暖房設備】

「温水暖房を設置する場合」の「温水暖房機の種類」が「温水暖房専用型」で下記以外を選択すると警告マークが表示されます。

- ・「ガス潜熱回収型温水暖房機」
- ・「給湯・温水暖房一体型」
- ・「コージェネレーション」

【給湯設備】

「暖房設備」で「主たる居室」の「設備機器の種類」を「温水床暖房」「温水床暖房(併用運転に対応)」にした場合で、「給湯熱源機」の「分類」を「給湯・温水暖房一体型」「コージェネレーション」を選択すると警告マークが表示されます。これら以外の設備を選択してください。

【コージェネレーション設備（P.11参照）】

暖房設備で「温水床暖房（併用運転に対応）」を選択して、「温水暖房機の種類」で「コージェネレーション」を選び、給湯設備の「給湯熱源機」で「コージェネレーション」を選んだ場合、コージェネ設備では下記の4つ以外は警告マークが表示されます。

■ 「品番を指定」

■ 「既定値を選択」「SOFC(個体酸化物形燃料電池)」

■ 「既定値を選択」「PEFC・SOFCに2015年度以前の評価方法またはGEC」、「PEFC1, PEFC3, PEFC4, PEFC6, SOFC1, SOFC2」のいずれか

■ 「パラメータを入力」「バックアップボイラーの種類：ガス潜熱回収型」

冷房設備について設定する

冷房方式を選択して、それに応じた冷房設備機器について設定しましょう。

① 「冷房」をクリックします。

ここでは、変更せずに確認のみとします。



換気設備について設定する

24時間換気に用いる換気設備を対象にして、4種の方式から選択しましょう。

① 「換気設備」をクリックします。

② ここでは、「方式の選択」を「壁付け式第二種または壁付け式第三種換気設備」、「換気回数」を「0.5回/h」にします。

その他の項目については、ここでは変更せずに確認のみとします。

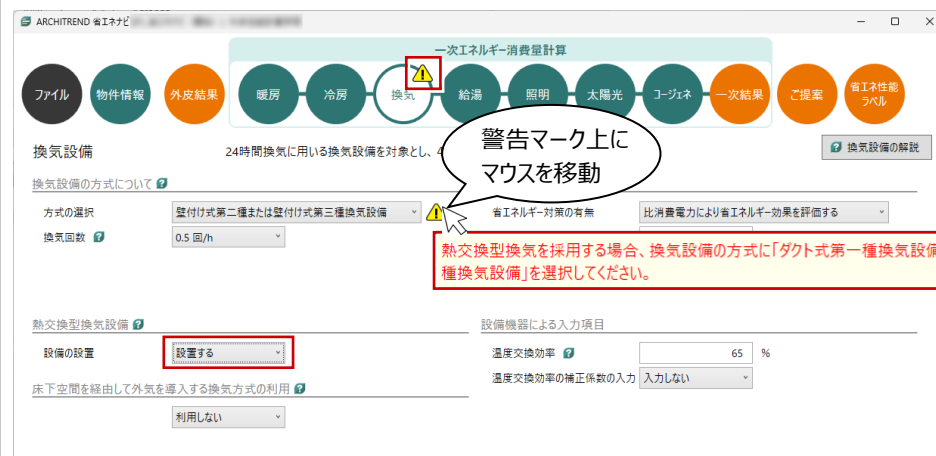


補足

警告マークが表示された場合

例えば、熱交換型換気設備の設置で「設置する」にしたときに、警告マークがつくことがあります。

このようなときは、警告マーク上にマウスを移動すると対処方法が表示されます。



給湯設備について設定する

給湯設備、給湯熱源機、配管、水栓、浴槽、太陽熱利用設備について入力しましょう。

- 1 「給湯設備」をクリックします。
- 2 「保温措置」を「高断熱浴槽を使用する」に変更します。
- 3 「給湯熱源機」を次のように設定します。
「熱源機の種類」：電気ヒートポンプ給湯機
(CO2 冷媒または R32 冷媒)
「効率の入力」：JIS 効率を入力
「JIS 効率」：3.8
- 4 「台所水栓」「洗面水栓」「浴室シャワー水栓」を「2 バルブ水洗以外のその他の水栓」に変更します。
それぞれの「手元止水機能」は「採用する」、
「水優先吐水機能」「小流量吐水機能」は「採用しない」に設定します。
- 5 「配管」を次のように変更します。
「方式」：ヘッダー方式
「ヘッダー分岐後の配管径」：
すべての配管径が 13A 以下



ヘッダー方式の場合、すべての配管径が13A以下の
場合に限り、配管方式を小口径化することによる、
省エネルギー効果が認められます。

照明設備について設定する

外皮性能計算で設定した居室タイプごとに照明機器を設定します。

照明機器について入力しましょう。

- 1 「照明」をクリックします。
ここでは、変更せずに確認のみとします。

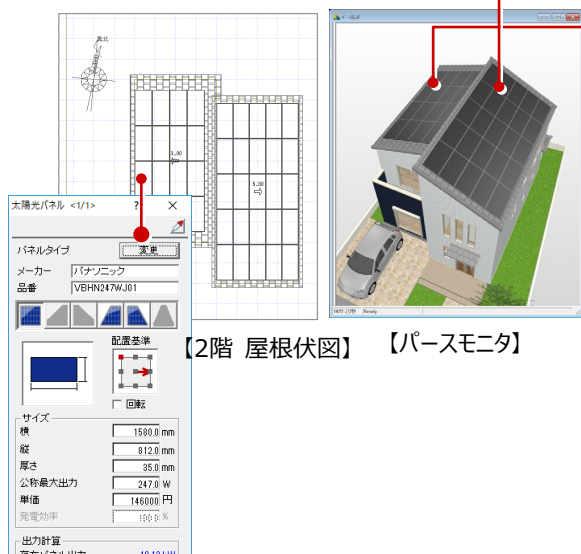
クローゼットや納戸に設置する照明器具
は「非居室」として評価します。



太陽光発電設備について設定する

ここでは、ZEROの屋根伏図で太陽光パネルを入力した物件を使用しているため、パネル内容が連動します。

- 1 「太陽光」をクリックします。
 - 2 「太陽光発電」「パネルの配置面 1」「パネルの配置面 2」の設定内容を確認します。
 - 3 「計算」をクリックします。
- 発電量や自家消費量を確認できます。



方位の異なる配置面の面数を、1～4面（方位）から選択します。
ここでは、東・西面にそれぞれ太陽光パネルを配置しているため、2面となります。



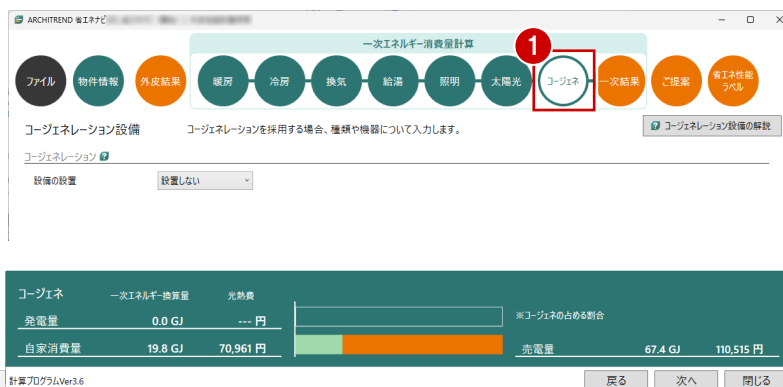
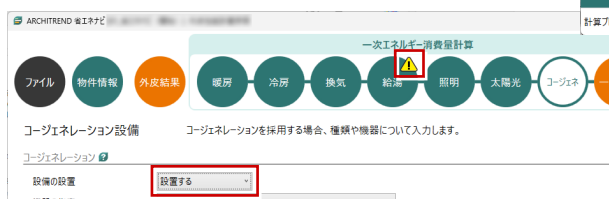
「パワーコンディショナの定格負荷効率」を「入力する」にした場合は、JIS C 8961「太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法」に基づいて測定された値を「定格負荷効率」に入力します。

パワーコンディショナの定格負荷効率 %

コージェネレーション設備について設定する

コージェネレーション設備を採用する場合には、種類や機器について入力しましょう。

- 1 「コージェネレーション」をクリックします。ここでは、変更せずに確認のみとします。
- ※ 「設置する」にした場合に、「給湯」に警告マークがつく場合があります。このようなときは、「給湯」を開いて、警告マーク上にマウスを移動すると対処方法が表示されます。⇒ P.9「補足」参照



一次エネルギー消費量の計算結果を確認する

- 1 「一次結果」をクリックします。
- 2 「OK」をクリックします。
- 3 「エネルギー消費量」が選択されていることを確認して、一次エネルギー消費量の計算結果と、適合判定を確認します。

ARCHITREND 省エネナビ

一次エネルギー消費量計算

一次エネルギー消費量結果 一次エネルギー消費量の計算結果やZEHの評価を確認します。

結果 エネルギー消費量 ZEH

基準プランエネルギー消費量 79,909 MJ

ARCHITREND 省エネナビ

一次エネルギー消費量を計算します。よろしいですか？

OK キャンセル

結果 エネルギー消費量 ZEH

基準プランエネルギー消費量 79,909 MJ

設計プランエネルギー消費量 61,401 MJ

設計プラン再生可能エネルギー 19,788 MJ

削減率 23.16%

年間 [GJ]	基準	設計	削減
暖房	14.2	12.2	2.0
冷房	5.0	3.9	1.1
換気	4.5	4.6	▲0.1
給湯	25.0	14.7	10.3
照明	10.0	4.9	5.1
その他	21.2	21.2	0.0
消費計	79.9	61.4	18.5

【フラット3S】

平成28年省エネ基準(一次エネルギー) : 不適合×

一次エネルギー消費量等級4 : 不適合× ①

BEI : 1.09

BELS : ☆☆☆☆☆

平成28年省エネ基準(一次エネルギー) : 適合○

一次エネルギー消費量等級6 : 適合○ ①

BEI : 0.35

BELS : ☆☆☆☆☆ (☆:普通星、★:強調星)

省エネ基準をクリアしていない場合、背景色が薄くなり、「不適合」と表示されます。また、2段目に一次エネルギー消費量等級、3段目にBEI、4段目にBELS（建築物省エネルギー性能表示制度）による省エネ性能を表示します。

【フラット3S】	
平成28年省エネ基準(一次エネルギー)	: 不適合×
一次エネルギー消費量等級4	: 不適合× ①
BEI	: 1.09
BELS	: ☆☆☆☆☆

① インフォメーションマークをクリックすると、「一次エネルギー消費量判定」が表示されます。ここでは、住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラムAPI機能を使用して取得した結果を表示し、判定根拠を確認できます。

一次エネルギー消費量等級	設計一次エネルギー消費量	基準一次エネルギー消費量
等級4	暖房 + 冷房 + 換気 + 照明 + 給湯 - (太陽光発電 + コージェネ) + その他	暖房 + 冷房 + 換気 + 照明 + 給湯 + その他
等級5	暖房 + 冷房 + 換気 + 照明 + 給湯 - (太陽光発電 + コージェネ) + その他	(暖房 + 冷房 + 換気 + 照明 + 給湯) × 0.9 + その他
等級6	暖房 + 冷房 + 換気 + 照明 + 給湯 - (コージェネ(太陽光は除く)) + その他	(暖房 + 冷房 + 換気 + 照明 + 給湯) × 0.8 + その他

一次エネルギー消費量計算結果		
一次エネルギー消費量 (1戸当り)	設計一次[MJ]	基準一次[MJ]
暖房設備	12,187	14,196
冷房設備	3,871	5,014
換気設備	4,552	4,511
給湯設備	14,666	25,021
照明設備	4,922	9,962
その他設備	21,205	21,205
発電設備の発電量のうち自家消費分	太陽光発電 (PV) -19,788	--
コージェネレーション設備の発電量に係る控除量	コージェネレーション設備 (CGS) --	--
合計	PVおよびCGSを対象とする場合 41,613	79,909
	CGSを対象とする場合 61,401	

一次エネルギー消費量等級	等級4	等級5	等級6
設計一次エネルギー [GJ/(戸・年)]	41.7	41.7	61.5
基準一次エネルギー [GJ/(戸・年)]	80.0	74.1	68.2

補足

BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）について

BELSとは、住宅・建築物の省エネルギー性能を評価・表示する第三者認証制度です。一次エネルギー消費量から算出されるBEIの値に基づき、星の数で省エネ性能を評価します。

$$BEI = \text{設計一次エネルギー消費量}(\%) / \text{基準一次エネルギー消費量}(\%)$$

※「その他」の一次エネルギー消費量を除きます。

【再エネ無し】

BEIの値	削減率	星の数	備考
0.7 ≥ BEI	30%以上	4	誘導基準・ZEH基準
0.8 ≥ BEI > 0.7	20%以上30%未満	3	誘導基準・ZEH基準
0.9 ≥ BEI > 0.8	10%以上20%未満	2	省エネ基準
1.0 ≥ BEI > 0.9	0%以上10%未満	1	省エネ基準
BEI > 1.0	0%未満	0	

【再エネ有り】

BEIの値	削減率	星の数	備考
0.5 ≥ BEI	50%以上	6	誘導基準・ZEH基準
0.6 ≥ BEI > 0.5	40%以上50%未満	5	誘導基準・ZEH基準
0.7 ≥ BEI > 0.6	30%以上40%未満	4	誘導基準・ZEH基準
0.8 ≥ BEI > 0.7	20%以上30%未満	3	誘導基準・ZEH基準
0.9 ≥ BEI > 0.8	10%以上20%未満	2	省エネ基準
1.0 ≥ BEI > 0.9	0%以上10%未満	1	省エネ基準
1.0 < BEI	0%未満	0	

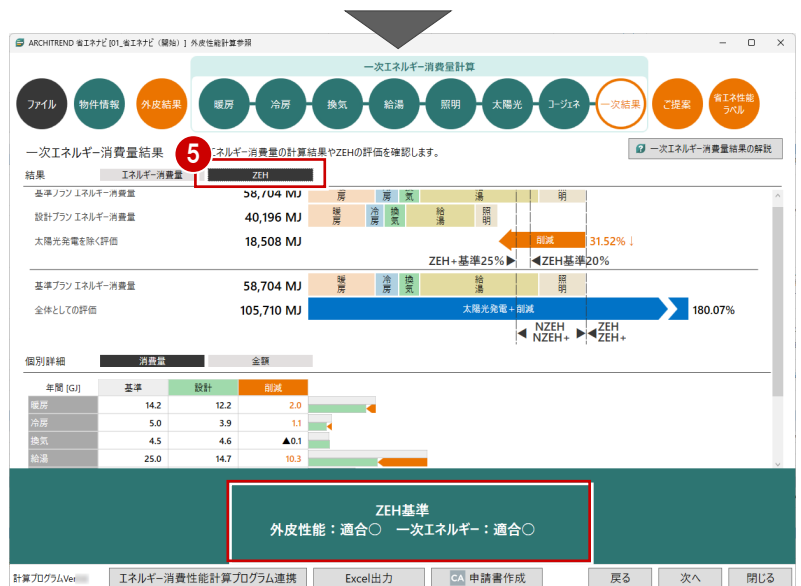
- 4 「[フラット 35]S」をクリックして、ZEH や金利 A プランと金利 B プランの省エネルギー性の基準を満たしているか、判定結果を確認できます。



一次エネルギー消費量等級について（2022年10月からフラット35Sの区分が追加され、基準も変更されました。）

- ・低炭素認定建築物は、断熱等性能等級5
- ・【フラット35】S ZEHは、断熱等性能等級5以上 かつ 一次エネルギー（再エネ除き80%以上かつ再エネ含む100%以上）
- ・【フラット35】S（金利Aプラン）は、断熱等性能等級5以上 かつ 一次エネルギー等級6
- ・【フラット35】S（金利Bプラン）は、断熱等性能等級4以上 かつ 一次エネルギー等級6、断熱等性能等級5以上 かつ 一次エネルギー等級4、または等級5以上が必要です。その等級を満たしているかを表示します。

- 5 「ZEH」をクリックして、ZEH の計算結果と適合判定を確認します。



プランを保存する

ここまでの変更内容を保存します。

- 1 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選びます。
- 2,3 プラン名を確認して、「OK」をクリックします。



入力できる文字数は半角40文字が上限となっています。

次回、データを開くときは

- ① 「処理選択」ダイアログの「AT 省エネナビ」をダブルクリックします。
- ② 「ARCHITREND 省エネナビ」を選びます。
※ 確認メッセージ画面が表示された場合は、P.4参照
- ③ 「プランの選択」ダイアログで、保存したプラン名をダブルクリックして開きます。

プランの選択

読み込むプランを選択してください。

フォルダ

確定	プラン名	参照	計算Ver	更新日時	コピー
	福井太郎様邸新築工事	外皮性能計算	3.0		削除

プラン名 福井太郎様邸新築工事

OK キャンセル



「プランの選択」「プランの保存」ダイアログの「参照」と、タイトル表示について

外皮性能計算情報の参照元によって「参照」欄の表示と、画面上のタイトル表示が変わります。

プランの選択

読み込むプランを選択してください。

フォルダ

確定	プラン名	参照	計算Ver	更新日時
	福井太郎様邸新築工事 2	外皮性能計算	3.0	
	比較プラン 1	外皮性能計算	3.0	
	比較プラン 2	省エネナビ	3.0	
	福井太郎様邸新築工事	外皮性能計算	3.0	
	【平】福井太郎様邸新築工事	平面図	3.0	
	【他】東京太郎様邸 [03]	他物件	3.0	

プラン名 福井太郎様邸新築工事 2

OK キ

ARCHITREND 省エネナビ [福井太郎様邸新築工事 2] 外皮性能計算参照

- ZEROの外皮性能計算データの値を連携して作成した省エネプランです。

ARCHITREND 省エネナビ [比較プラン 2] 省エネナビ参照

- 「外皮結果」ページの「編集」から外皮性能情報を設定して作成した省エネプランです。

ARCHITREND 省エネナビ 【平】福井太郎様邸新築工事 平面図参照

- ZERO平面図の「チェック」メニューの「外皮性能チェック」から連携して作成した省エネプランです。

ARCHITREND 省エネナビ 【他】東京太郎様邸 [03] 他物件参照

- 「ご提案」ページで比較プランとして使用した他物件の省エネプランです。

補足

プラン名を変更するには

データ保存後にプラン名を変更する場合は、「ファイル」メニューの「開く」もしくは「名前を付けて保存」を選んで、「プランの選択」ダイアログの「名称変更」を使用します。



プランの保存

保存するプラン名を入力してください。

フォルダ

確定	プラン名	参照	計算Ver	更新日時	コピー
	福井太郎様邸新築工事		3.0		削除

名称変更

プラン名の変更
変更後のプラン名を入力してください。

プラン名 福井太郎様邸新築工事

OK キャンセル

3

BELS などの申請を行う場合

BELSなどの申請を行うときは、住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムの「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版）」からPDFファイルを作成する必要があります。省エネナビでは、PDFの作成方法として以下の2つがあります。

1. 自動的に計算プログラムへ連携して計算結果PDFをダウンロードする方法
2. 連携ファイルを出力し、計算プログラムへ連携して計算を行ったあとPDFを出力する方法

ここでは、「1. 計算結果PDFをダウンロードする方法」について解説します。

※ エネルギー消費性能計算プログラムを利用する際はインターネット環境が必要です。

3-1 計算結果PDFをダウンロード

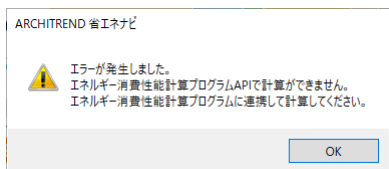
- 1 「一次結果」ページを開いて、「エネルギー消費性能計算プログラム連携」をクリックします。

※ 一次エネルギー消費量の計算は、住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム API 機能を使用しています。

ただし、本サービスの内容は国立研究開発法人建築研究所又は国土技術政策総合研究所によって保証されたものではありません。

- 2 「エネルギー消費性能計算プログラム連携」ダイアログで「計算結果 PDF をダウンロード」をクリックします。

※ 以下のような確認画面が表示されダウンロードに失敗する場合は、「計算プログラムを起動」をクリックしエネルギー消費性能計算プログラムに連携して計算してください。



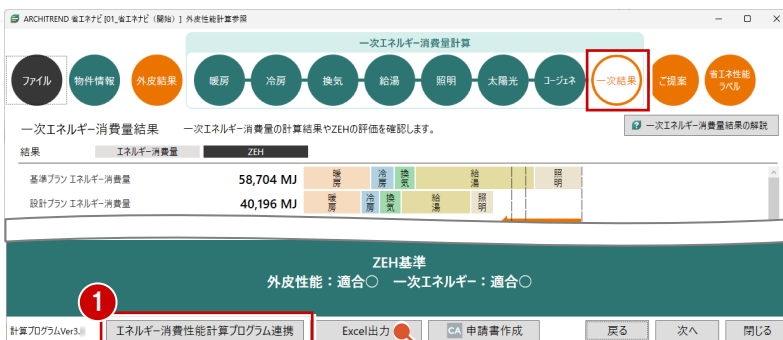
- 3 保存場所とファイル名を確認して、「保存」をクリックします。

※ 保存場所やファイル名を指定しないで保存すると、以下のように保存されます。

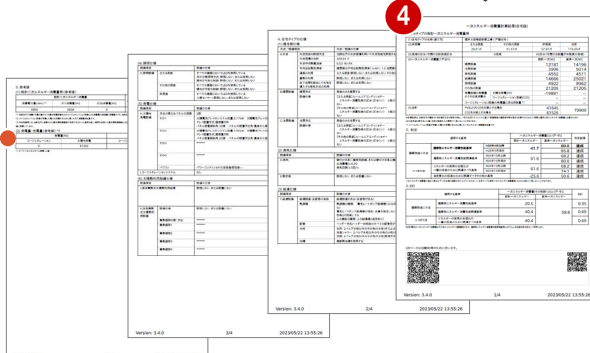
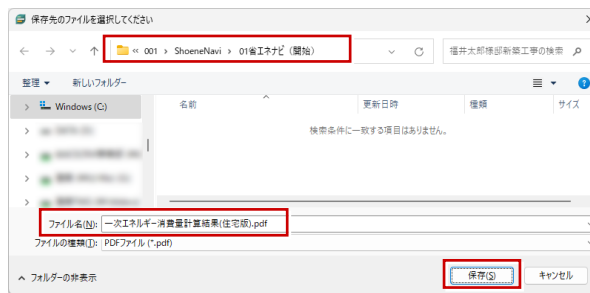
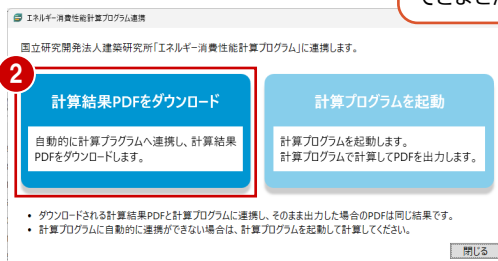
保存場所：ZERO 物件フォルダ¥ShoeneNavi フォルダ¥プラン名
 ファイル名：「一次エネルギー消費量計算結果(住宅版).pdf」

- 4 PDF が表示されます。

保存したPDFファイルは、「ファイル」メニューの「プランフォルダを開く」から開くことができます。



一次エネルギー消費量の計算結果をExcelに出力します。出力したExcelファイルは、BELSなどの申請には利用できませんのでご注意ください。

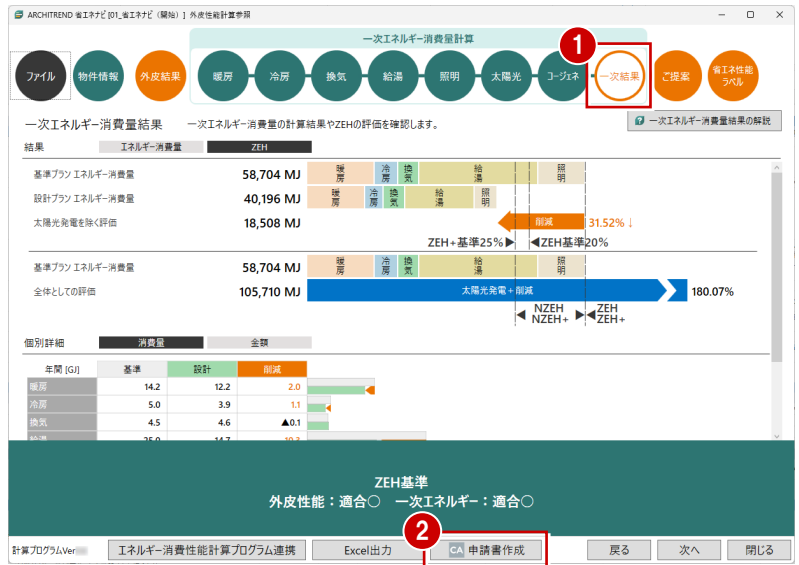


3-2 BELSの申請書の作成

弊社プログラムTREND CAより申請書を作成できます。

① 「一次エネルギー消費量結果」の画面が表示されていることを確認します。

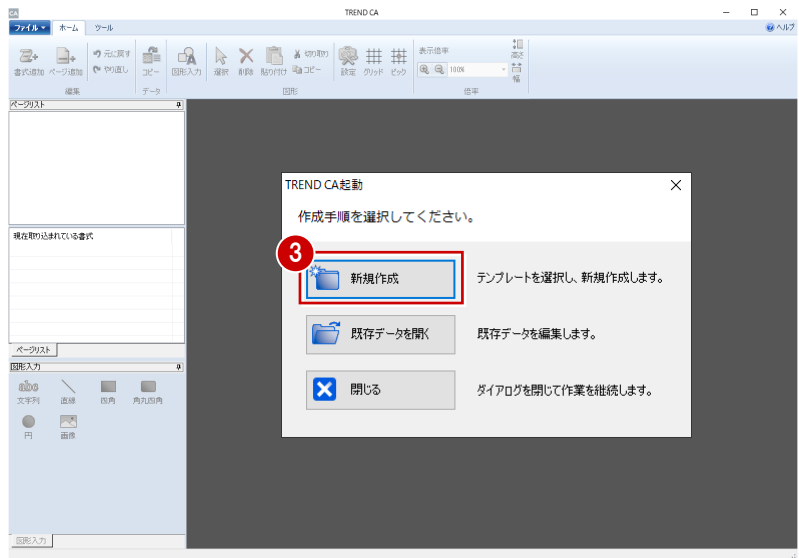
② 「申請書作成」をクリックします。
TREND CA が起動します。



③ 「新規作成」をクリックします。

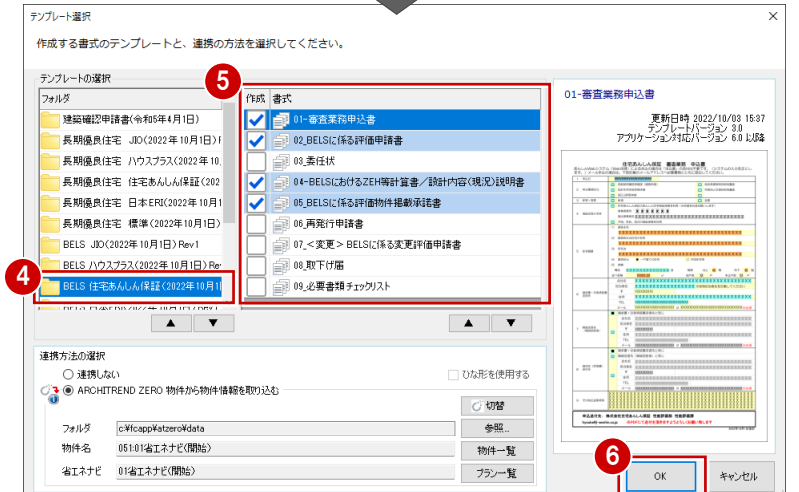
④ 作成する書式のテンプレートを選びます。
ここでは、「BELS 住宅あんしん保証」のテンプレートを選びます。

⑤⑥ 作成する書式にチェックを付けて、「OK」をクリックします。



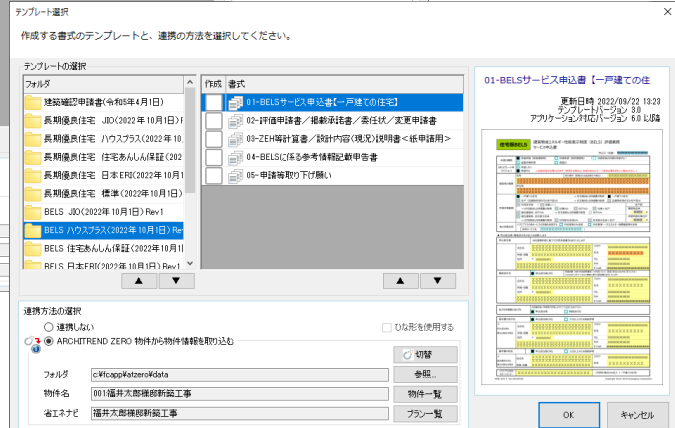
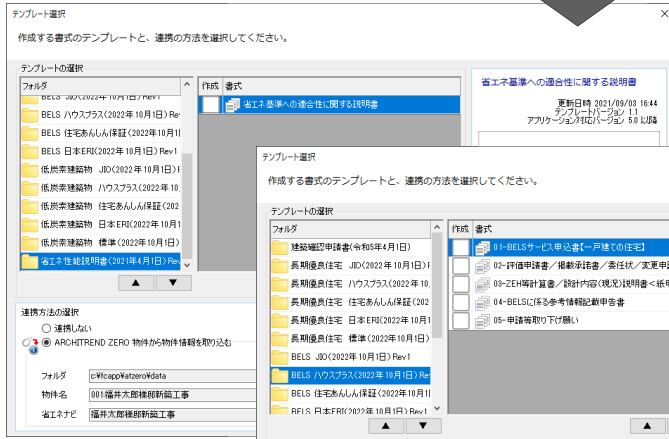
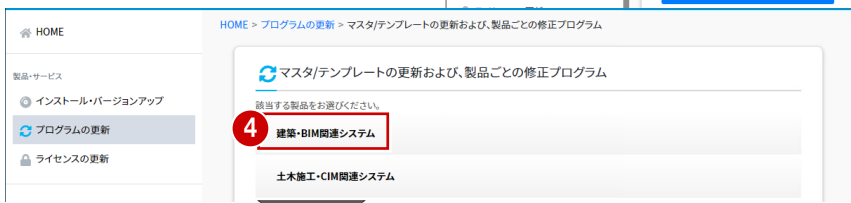
This is a thumbnail of a ZEH calculation sheet template. It contains various tables and text related to energy performance calculations. The title is 'BELS 住宅のZEH計算シート'.

【書式例：ZEH等計算シート】



各検査機関用テンプレート、省エネ性能説明書テンプレートについて

各検査機関用テンプレート（検査機関確認済）、省エネ性能の説明書テンプレートは、FCアカウントの「プログラム更新」からダウンロードできます。



4

【平面図から省エネナビ起動】

平面図で外皮性能チェック・省エネナビ起動

外皮性能計算のデータがなくても平面図で外皮性能チェックができます。

その後、省エネナビを起動して提案書まで作成できます。

前章までのサンプルデータは終了し、4章ではサンプルデータ

「03_平面図から省エネナビ起動（開始）.fcbz」を使用します。

基本図面を開く

省エネナビを起動する前に、配置図（または平面図 1 階）に方位マークの入力があるかと、平面図・屋根伏図・パースモニタの入力状況を確認しましょう。

※ ここで使用するデータは、屋根伏図で太陽光パネルも入力しています。

※ 外皮性能計算データは作成していません。



平面図で断熱仕様を設定する

① 平面図を開いて、「チェック」メニューから「外皮性能チェック」を選びます。

「チェック」をクリックした場合は、「チェックナビ」の「外皮性能チェック」を選びます。

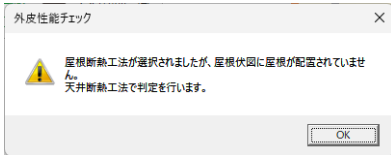


- 「参考断熱仕様」か「外皮性能計算」のどちらかの仕様を選びます。
ここでは、「参考断熱仕様」を選びます。
- 「タイプ」を選びます。
ここでは、「木軸等級 5 相当」を選びます。

部位	仕様名称	熱貫流率等
屋根	外張断熱 押出法ポリスチレンフォーム3bA(厚75)	0.179
外壁	充填断熱 高性能グラスウール16K(厚105)	0.433
床	ネダレス グラスウール32K(厚80)	0.426
基礎	ベタ基礎内断熱 基礎形状によらない値(地盤面+50)	0.990
基礎	基礎壁 押出法ポリスチレンフォーム3bA(厚100)	0.262
熱貫流率	樹脂製又は木製 Low-E複層(G10以上)	2.150
窓	枠・木又は樹脂製 Low-E複層(日射取得型)	0.460
内窓	熱貫流率 外・金属製又は金属製熱遮断 複層(A8以上)+内・樹脂製 複層(A13未満)	1.870
内窓	日射熱取得 外・金属製 複層+内・樹脂製 複層	0.480
ドア	枠・金属製遮断 戸断熱フラッシュ ポストなし Low-E複層(A14以上)	2.330

- 「工法」を確認します。
ここでは、屋根断熱工法、基礎断熱工法にします。
- 各部位の仕様や、熱貫流率等を確認して、「OK」をクリックします。

屋根伏図に屋根がない場合に、「屋根断熱工法」で処理を実行すると、以下の確認画面が表示され天井断熱工法で計算されます。



補足 「外皮性能計算」の断熱仕様を選択する場合

- 外皮性能計算プログラムを購入されていない場合は選択できません。
- 外皮性能計算にデータがない場合は、「タイプ」で選択した等級の仕様で外皮性能チェックを行います。この「タイプ」は、外皮性能計算の「専用初期設定：仕様セット」の「タイプ」と共通で、「外皮性能計算 専用初期設定：仕様セット」の仕様で計算します。

【外皮性能計算 専用初期設定：仕様セット】

外皮性能をチェックする

- 1 UA 値、 η AC 値、 η AH 値などの計算結果を確認します。

「断熱材選択」をクリックすると「断熱仕様設定」ダイアログが表示されます。断熱仕様や目標等級など条件を変更して再計算できます。

補足 基準値がない地域区分、タイプを設定した場合には

地域区分が「8地域」、タイプが「木軸等級7相当」の場合、基準値が存在しないため計算することができません。また、「8地域」の場合はUA値が、「4地域」の場合は η AC値の基準がないため基準値やグラフが表示されません。

【8地域 木軸等級7相当：計算不可】

【8地域：UA値の基準なし】

【4地域： η AC値の基準なし】

省エネナビを起動する

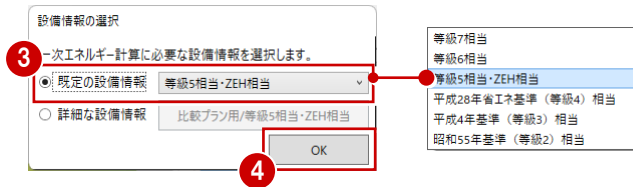
- 1 「省エネ提案書作成」をクリックします。
- 2 確認画面の「OK」をクリックしていきます。

屋根伏図で太陽光パネルを配置していない場合は以下の確認画面が表示され、太陽光設備には初期値を設定します。

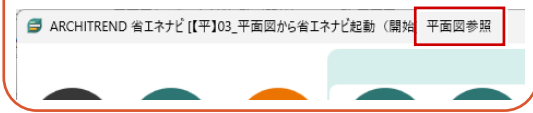
③ 使用する設備情報を選択します。
ここでは、「既定の設備情報」をONにして、「等級5相当・ZEH相当」を選びます。

④ 「OK」をクリックします。

※ 省エネナビが起動して「ご提案」ページが表示されます。



平面図の外皮性能チェックから省エネナビに連携した場合には、「平面図参照」と表示されます。



補足

「詳細な設備情報」を選んだ場合には

平面図の外皮性能チェックから連携したときに、「詳細な設備情報」をONにして「比較プラン用/等級5相当・ZEH相当」をクリックすると設備情報の選択ダイアログが表示されます。

お好みの設備情報を選択して「OK」をクリックしていくと、「ご提案」ページが表示されます。

※「設備情報の選択」については、本編P3をご確認ください。



省エネナビでは断熱性能やランニングコスト比較などお施主様が知りたい情報がすぐわかる提案書を作成できます。古い住宅の性能との比較や、太陽光パネル搭載のメリット提案など、省エネ住宅の説明資料として利用できます。

提案書の作成は、省エネナビからExcelに出力して作成する方法（かんたん設定）と、プランを保存しTREND CAIに連携して作成する方法（詳細設定）があります。ここでは、モードをかんたん設定にして提案書を作成する方法を解説します。

5-1 提案書の作成

年間のエネルギー消費量を確認する

- 1 モードが「かんたん設定」であることを確認します。
- 2 現在のプランの外皮情報を確認します。
- 3 比較プランを設定します。
ここでは、「想定プランを使用」をONにして、「平成28年省エネ基準（等級4）相当」を選びます。
- 4 比較詳細を確認します。

比較詳細	年間	消費 [GJ]	自家消費 [GJ]	実質 [GJ]	光熱費 [円]	売電 [円]	光熱費-売電 [円]
【平】03_平面図から省エネナビ起動 (開始)		61.9	19.9	42.0	137,383	110,293	27,090
平成28年省エネ基準 (等級4) 相当		82.1	0.0	82.1	280,824	0	280,824
差引		-20.2	19.9	-40.1	-143,441	110,293	-253,734

「料金単価設定」から電気、ガス料金の単価の確認、編集ができます。

■ 売電価格について

実際の売電価格は、10kW未満、10kW以上、50kW以上で変わりますが、省エネナビでは、10kW未満、10kW以上、50kW以上に関係なく「料金単価設定」の「売電（太陽光）」で設定した売電価格で計算します。

太陽光発電システム費用と収支を確認する

- 5 「太陽光発電」をクリックします。
※「太陽光発電システム設置費」や「メンテナンス費」を確認します。右側のグラフでは、太陽光発電の収支を確認できます。
- 6 「提案書作成」をクリックします。

「システム設置費」や「メンテナンス費」の初期値は、「料金単価設定」から確認できます。

太陽光発電システム設置費	システム容量	システム設置単価	システム設置費	補助金	太陽光発電システム設置費合計
	10.13 kW	255,000 ¥/kW	2,582,385 ¥	0 ¥	2,582,385 ¥

メンテナンス費	交換年数(年)	交換費用(円)
パワーコンディショナー	20.00	345,000
定期点検	5.00	47,000

およそ18年目に太陽光発電の収支がプラスになります

7 Excel が起動します。シート毎に、お施主様ご提案用の資料を確認し、出力してください。

作成した提案書のExcelは、プログラムから自動生成しています。

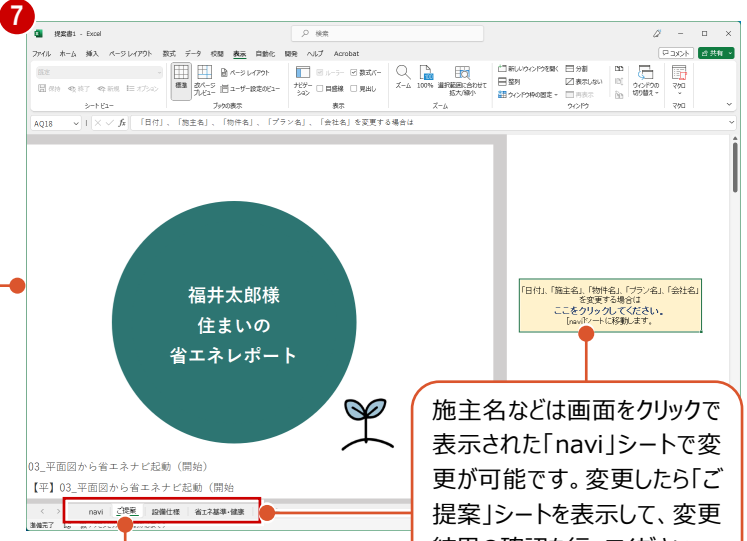
「ご案書」シートは、光熱費、外皮性能、一次エネルギー性能の適合状況などを表示しています。

「設備仕様」シートには、設備の仕様をご提案プラン、比較プランそれぞれ表示しています。

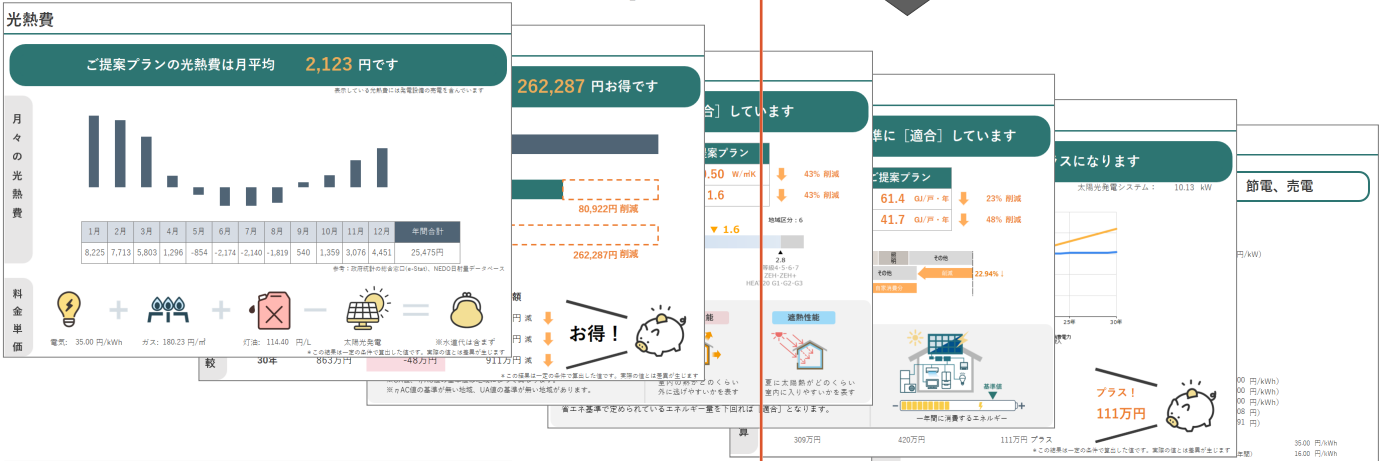
「省エネ基準・健康」シートには、省エネ基準の説明と断熱性能と健康面の関係を記載しています。

お施主様にアピールしたいページやシートを印刷してご提案してください。

かんたん設定からは素早く光熱費、省エネ基準適合状況や健康面のご提案書が作成できます。



施主名などは画面をクリックで表示された「navi」シートで変更が可能です。変更したら「ご提案」シートを表示して、変更結果の確認を行ってください。

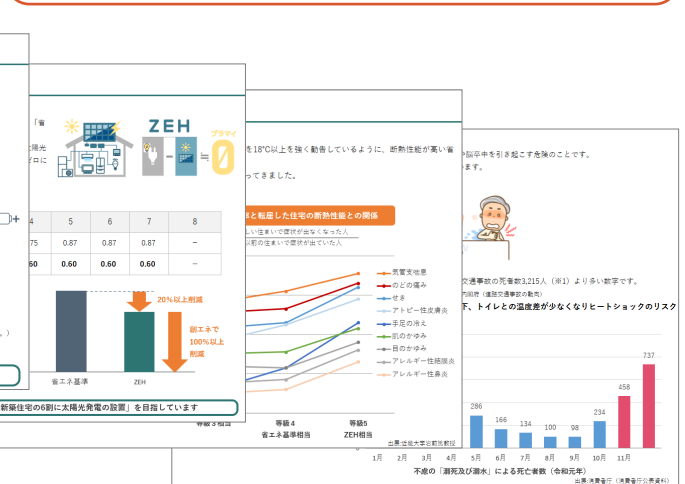
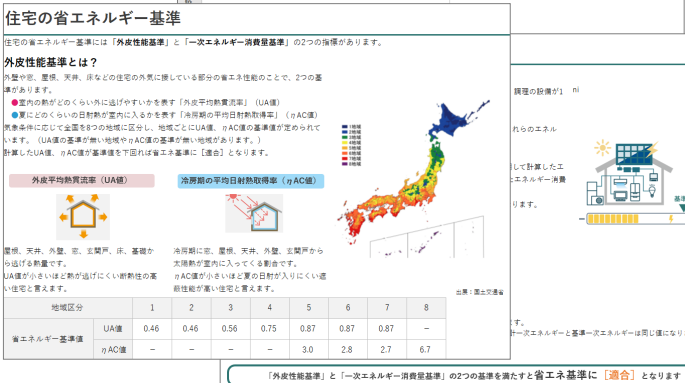


設備仕様	ご提案プラン	比較プラン
暖房設備	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ
換気設備	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ
照明設備	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ
換気設備	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ	【給湯方式】給湯のみを暖房する 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ 【給湯方式】オール電化タイプ

【ご提案】シート
提案住宅に関する省エネのシミュレーション結果を記載しています。

【設備仕様】シート
提案住宅と比較プランで使用している設備情報を記載しています。必要に応じて、出力してご利用ください。

【省エネ基準・健康】シート
省エネ基準の詳細な説明に利用できるほか、健康面のリスクや快適な住まいにするための説明を記載しています。



6

省エネ性能ラベル作成

建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度ガイドラインに従った自己評価ラベル及び評価書を作成します。

「建築物省エネ法に基づく建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度」は2024年4月からスタートした制度です。

建築物の販売・賃貸事業者は、販売等の際に省エネ性能の表示が求められるようになりました。

また、新築建築物の販売・賃貸の際は、所定のラベルを広告等に表示する必要があります。（※既存建築物についても表示を推奨）

参考：建築物省エネ法に基づく建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度



6-1 省エネ性能ラベル・評価書の作成（性能基準の場合）

省エネナビでは、「性能基準」と「仕様基準」のモードがあり、それぞれの評価基準で省エネ性能ラベルと評価書を作成できます。本書では、評価基準を「性能基準」にして解説します。

	<p>性能基準 外皮性能計算から連携した外皮情報や省エネナビで設定した外皮情報と、設備情報から一次エネルギー消費量計算結果を用いて省エネ性能ラベル・評価書を作成します。</p>
	<p>仕様基準 省エネ性能を仕様基準で評価した場合の省エネ性能ラベル・評価書を作成します。</p>

「概要」を確認する

「省エネ性能ラベル」を選択して、「物件概要」から確認していきます。

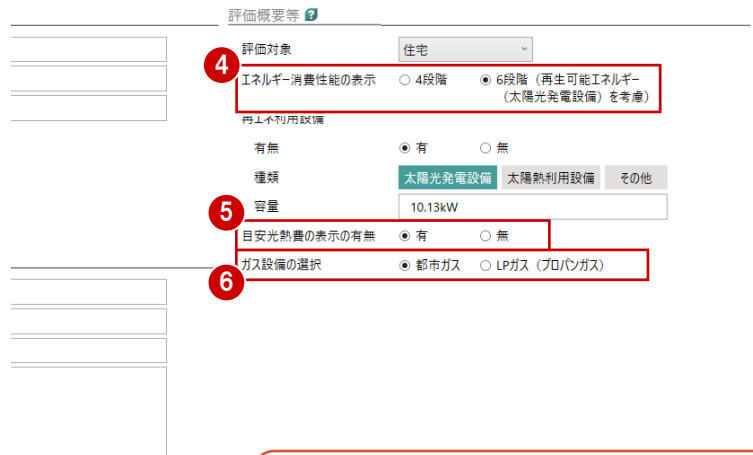
- 1 「性能基準」、「概要」が選択されていることを確認します。
- 2 「不動産 ID」を入力します。
半角数字 17 桁を入力して、他のセルをクリックします。
その他の項目は、「物件情報」で設定した内容が連動しています。
詳しくは、ヘルプを参照してください。

- 3 「評価者」を確認します。
「所属」「氏名」「資格」「備考」に文字列を入力します。
「所属」は、ZERO「基本設定：会社情報」で「会社名」を設定している場合に、その内容が連動します。



「評価概要等」を確認します。

- 「エネルギー消費性能の表示」を確認します。
ここでは、「6段階」がONであることを確認します。
初期値は、「太陽光発電設備」の設定で設備を設置していない場合に、「4段階」がONになります。「再エネ利用設備」も「無」となります。
- 「目安光熱費の表示の有無」を設定します。
この後の、「ラベル」「評価」での表示に反映します。ここでは、「有」がONであることを確認します。
- 「ガス設備の選択」を確認します。
初期値は「物件情報」の「ガス種類」が連動します。



再読み込み

「再読み込み」をクリックすると、表示中の情報をクリアして現在のATZERO、省エネナビの情報を読み込みなおします。

「ラベル」を確認する

- 「ラベル」をクリックします。
- 省エネ基準、誘導基準（ZEH水準）の達成状況を確認します。
- 省エネ性能ラベルに表示される「エネルギー消費性能」「断熱性能」を確認します。
「概要」の「評価概要等」で「エネルギー消費性能の表示」が「4段階」の場合は、以下の表示になります。
- 目安光熱費を確認します。
「概要」の「評価概要等」で目安光熱費の表示が「無」の場合は、以下の表示になります。



「評価」を確認する

- 「評価」をクリックします。
- 「エネルギー消費性能」を確認します。
計算方法は、次ページ補足の「エネルギー消費性能の計算方法について」を参照してください。
- 「断熱性能」を確認します。
- 「目安光熱費」を確認します。
※ 実際の光熱費とは異なります。
目安光熱費の計算方法は次ページ「補足」を参照してください。
「概要」の「評価概要等」で目安光熱費の表示が「無」の場合は、以下の表示になります。

設計二次エネルギー消費量	算出用の単価	小計
電気	- kWh/年	27円/kWh
都市ガス	- m ³ /年	156円/m ³
LPガス	- m ³ /年	706円/m ³
灯油	- ℓ/年	88円/ℓ
合計		

★は再エネを考慮しないエネルギー削減率
✳は再エネ(太陽光発電)分でのエネルギー削減率



「外皮性能」の値を表示します。

全国一律の燃料等の単価を表示します。

補足 **+**

エネルギー消費性能の計算方法について

以下の計算方法で算出された値から、星の数（評価）を表示します。

※ 星の数（評価）については、P.12「補足：BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）について」を参照してください。

	削減率/BEI	計算方法	基準一次・設計一次の値
太陽光発電なし	削減率（%）	(基準一次[GJ] - 設計一次[GJ]) / 基準一次[GJ] × 100 ※小数点以下切り捨て	・基準一次[GJ] = 基準一次エネルギー消費量の合計 - その他の設備 ・設計一次[GJ] = 設計一次エネルギー消費量（コージェネレーション設備対象） - その他の設備
	一次エネルギー消費量基準（BEI）	設計一次[GJ] / 基準一次[GJ] ※小数第3位切り上げ	
太陽光発電（自家消費分）を含む	削減率（%）	計算方法は「太陽光発電なし」と同じ	・基準一次[GJ] = 基準一次エネルギー消費量の合計 - その他の設備 ・設計一次[GJ] = 設計一次エネルギー消費量（太陽光発電&コージェネレーション設備対象） - その他の設備
	一次エネルギー消費量基準（BEI）	計算方法は「太陽光発電なし」と同じ	
太陽光発電（自家消費分と売電分）を含む	削減率（%）	計算方法は「太陽光発電なし」と同じ	・基準一次[GJ] = 基準一次エネルギー消費量の合計 - その他の設備 ・設計一次[GJ] = 設計一次エネルギー消費量（太陽光発電&コージェネレーション設備対象） - その他の設備 - 売電量（太陽光発電 + コージェネレーション） + コージェネレーション設備の売電量に係る控除量
	一次エネルギー消費量基準（BEI）	なし	

補足 **+**

「目安光熱費」の計算について

目安光熱費は、住宅の省エネ性能と全国一律の燃料等の単価や換算係数を用いて算出したものです。実際の光熱費とは異なりますのでご注意ください。

- 目安光熱費・・・設計二次エネルギー消費量 / 換算係数 × 単価 ※小数第1位切り上げ
- 設計二次エネルギー消費量

「一次結果」の「エネルギー消費性能計算プログラム連携」から作成したPDF内の「5.参考値」を参照します。都市ガスや、LPガスなど立米（m³）で表示しているものは、参考値と以下の換算係数で値を表示します。

例：都市ガス

参考値「3838」/換算係数は「46.05Mj/m³」= 83.3441911・・・※四捨五入して整数表示で「83m³/年」となります。ただし、「小計」の計算は「83m³/年」ではなく、「83.3441911・・・」×算出用の単価「156円/m³」※切り上げて整数表示で「13,002円」となります。

設計二次エネルギー消費量 ※1	算出用の単価	小計
電気 3,570kWh/年	27円/kWh	96,390円
都市ガス 83m ³ /年 (0m ³ /年)	156円/m ³	13,002円
LPガス - m ³ /年 (- m ³ /年)	706円/m ³	- 円
灯油 0ℓ/年	88円/ℓ	0円
	合計	109,392円

5. 参考値

(1) 設計二次エネルギー消費量等（参考値）

消費電力量[kWh] *1	ガス消費量[MJ]	灯油消費量[MJ]	コージェネレーション設備の売電量に係るガス消費量の控除量[MJ] *2	未処理負荷の設計一次エネルギー消費量相当値[MJ] *3
3570	3838	0	0	3

*1: 当該住戸で消費する電力量が、太陽光発電設備及びコージェネレーション設備による消費電力削減量（控除量）のうち、当該住戸で消費される自家消費分を差し引いた値を算出しています。
*2: コージェネレーション設備が発電した電力を発電するために要したガス消費量相当値です。
*3: 未処理負荷とは、当該住戸に設置された暖房器具等によって発生した負荷を指し、負荷を削減した暖房器具等とは別の、何らかの暖房器具等によって発生したと仮定して、設計一次エネルギー消費量相当値に算入しています。

(2) 発電量・売電量（参考値） *1

発電量[MJ]		売電量[MJ]	
コージェネレーション	太陽光発電	コージェネレーション	太陽光発電
0	87202	0	68000

*1: すべて一次エネルギーに換算した値

ガス消費量「3838」

都市ガス、LPガスの2段階

コージェネレーション設備の売電量に係るガス消費量の控除量がある場合は、それぞれの係数で換算して表示します。コージェネレーション設備の売電が無い場合は、(0m³/年)と表示します。

- 単価、換算係数

表の値は、「小売事業者表示判断基準ワーキンググループ取りまとめ」を参考にしています。

	単 価	換算係数
電気	27 円/kWh	-
都市ガス	156 円/m ³	46.05Mj/m ³
LP ガス	706 円/m ³	104.22Mj/m ³
灯油	88 円/ ℓ	37.04Mj/ ℓ

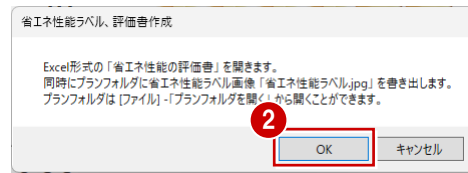
【一次エネルギー消費量計算結果 PDF】

省エネ性能ラベルと評価書を出力する

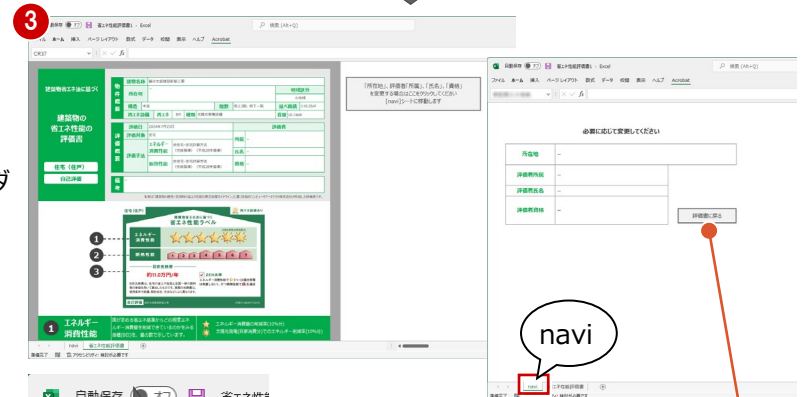
① 「ラベル・評価者作成」をクリックします。



② 確認画面の「OK」をクリックします。



③ Excel が起動して評価書が表示されます。



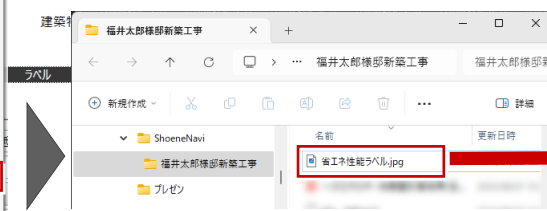
④ 評価書の内容を確認して、任意のフォルダに保存します。

⑤ 省エネ性能ラベルは、「ファイル」メニューから「プランフォルダを開く」を選んで確認できます。

保存場所：ZERO 物件フォルダ¥ShoeneNavi フォルダ
¥プラン名フォルダ
ファイル名：省エネ性能ラベル.jpg



所在地、評価者所属、評価者氏名、
評価者資格を変更できます。
表示したい内容を入力したら、「評価
書に戻る」をクリックします。



【自己評価ラベル】